

近年の「想定外」豪雨による災害について考えるシンポジウム

主催：公益社団法人地盤工学会関西支部

「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える
調査研究委員会

共催：一般社団法人日本応用地質学会関西支部

関西地質調査業協会
中部地質調査業協会

平成 23 年台風 12 号によって全国的に豪雨による災害が多数発生しました。特に、近畿地方では、大規模な土砂崩壊、土石流、洪水被害など甚大な被害がありました。この地盤災害に対して、公益社団法人地盤工学会関西支部、一般社団法人応用地質学会、関西地質調査業協会、中部地質調査業協会は、合同で『「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会』を立ち上げ、委員に参画していただきこの 5 月上旬より活動を開始致しました。この委員会は、平成 23 年台風 12 号によって発生した地盤災害に対して、より詳細なデータを集め地域の地盤災害の特性やメカニズムについて調査研究を行い、想定を超えるような豪雨に対する地盤災害の減災に向けた提言を行うこと、さらに、調査研究を進める上で明らかになった知見を広く社会にわかりやすく情報を発信することにより、市民の防災意識の向上および防災行政の一助とすることを目的と致しています。

本シンポジウムでは、調査研究活動の報告と近年発生している「想定外」豪雨の事例について講師の方にご講演をいただき、委員および講演者、会場参加者を含めて「想定外」豪雨に対する対応策について討論したいと考えております。

日 時：平成 24 年 10 月 17 日(水) 13:30～17:30

場 所：建設交流館 グリーンホール 定員 200 名

大阪市西区立売堀 2-1-2. TEL：06-6543-2551（代）

参加費：一般 2,000 円、学生 1,000 円

G-CPD ポイント：4.0

内 容：

13：30 開会挨拶

13：40 委員会報告

14：50 休憩

15：00 基調講演 1：「平成 21 年台風 9 号による地盤災害」

神戸大学大学院 澁谷 啓 教授

15：50 基調講演 2：「1889 年と 2011 年に紀伊半島で発生した土砂災害の比較」

財団法人砂防フロンティア整備推進機構 井上 公夫

16：40 討論会

17：20 閉会挨拶

申し込み先：公益社団法人地盤工学会関西支部

〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-5-7 ストックビル天満橋 801 号室

電話：06-6946-0393 FAX：06-6946-0383

E-mail：office@jgskb.jp URL：<http://www.jgskb.jp>